

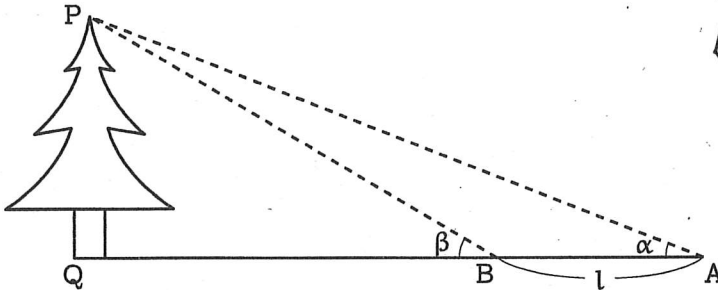
基礎数学α 小課題第 17 回

裏面にある略解をもとに丸付けをすること。裏面も解答に使ってもよいです。授業の質問も書いてくれれば回答します。名前等、忘れずにていねいに書いてください!

1 年 ___ 科 ___ 番 氏名 _____

1. A 地点から B 地点まで l だけ離れている。次の 2 通りの方法で、木の高さ PQ を求めよ。ただし、簡単のため、観測者の背の高さは考慮していない。

(1) A 地点と B 地点より木のとっぺん P までの角度を測ると、A 地点では α 、B 地点では β であった。このとき、木の高さ PQ を l, α, β を用いて表わせ。



$$\begin{cases} PQ = AQ \tan \alpha \\ PQ = BQ \tan \beta \end{cases} \quad \text{より,} \\ AQ = l + BQ$$

$$\frac{PQ}{\tan \alpha} = l + \frac{PQ}{\tan \beta}$$

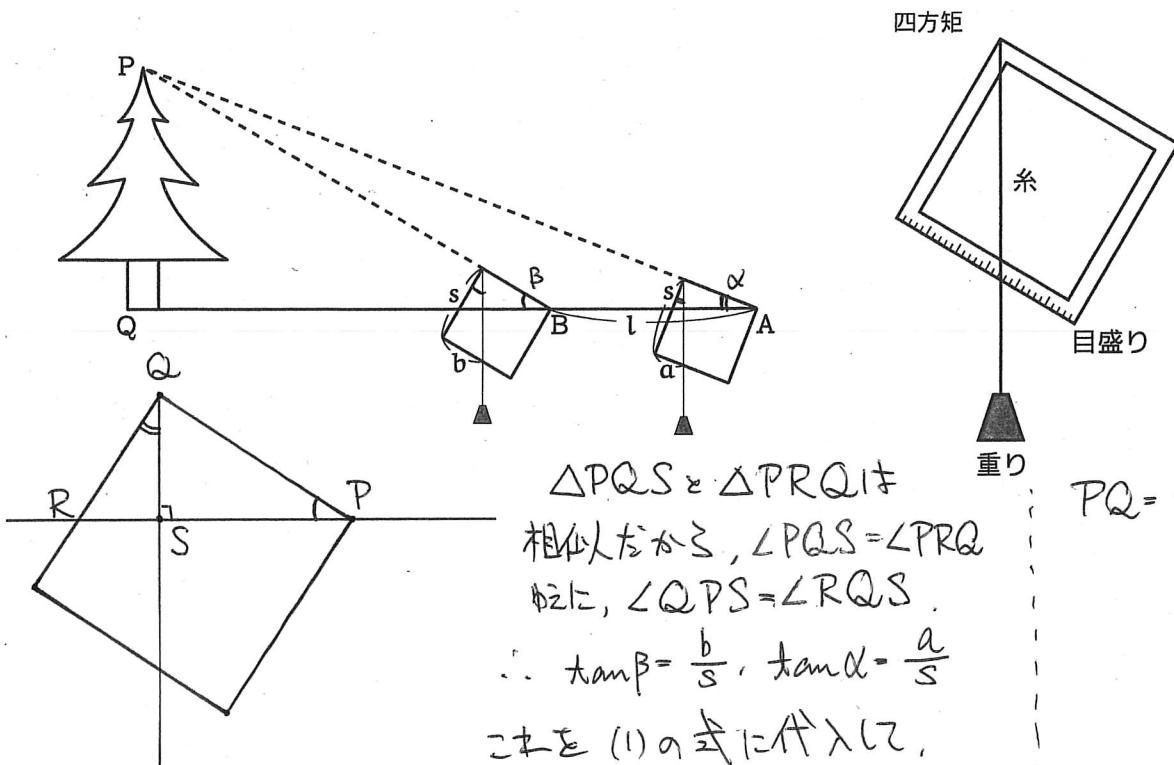
両辺に $\tan \alpha \tan \beta$ を掛ける。

$$PQ \tan \beta = l \tan \alpha \tan \beta + PQ \tan \alpha$$

$$(\tan \beta - \tan \alpha) PQ = l \tan \alpha \tan \beta$$

$$PQ = \frac{l \tan \alpha \tan \beta}{\tan \beta - \tan \alpha}$$

(2) 1 辺の長さが s の正方形の金枠のひとつの頂点に糸を結び、糸のもう一方の端に重りをくくりつけた(これを^{しほうのかね}四方矩という*)。図のように、木のとっぺん P へと器具 S を向け、糸と器具 S との交点とその頂点までの長さを測ると、A 地点では a 、B 地点では b であった。このとき、木の高さ PQ を s, l, a, b を用いて表わせ。



$\triangle PQS \sim \triangle PRQ$ ではない
相似だから、 $\angle PQS = \angle PRQ$
また、 $\angle QPS = \angle RQS$
 $\therefore \tan \beta = \frac{b}{s}, \tan \alpha = \frac{a}{s}$
これを (1) の式に代入して、

$$PQ = \frac{l \cdot \frac{a}{s} \cdot \frac{b}{s}}{\frac{b}{s} - \frac{a}{s}} = \frac{abl}{(b-a)s}$$

* 「分度余術」松宮観山編、享保 13 年 (1728 年) <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3508472/5> (国立国会図書館デジタルコレクション)
参考: 江戸の数学 第 1 部 和算の歴史 第 4 章 実学としての和算 <http://www.ndl.go.jp/math/s1/c7.html>